

ボナンタゴン

アピカホールから
あなたに

Vol.98

2020.10月-12月



2021. 1/11 (月・祝)・12 (火)・14 (木)

新春 アピカ名画座
令和2年度 優秀映画鑑賞推進事業

音楽の話・輪・和・Wa
先生、ありがとう

■寄稿 村上 成美

新おんがく談義

■寄稿 中村 翔太郎

二月十五日開催

の仲間たち

第147回
N響中村翔太郎
ヴィオラと弦楽器

■寄稿 越川 誠司

優秀映画鑑賞推進事業
新春 アピカ名画座
レコードで愉しむ名場面
一月十一日・十二日・十四日開催

西脇市立音楽ホール

Apika
アピカホール

2021年1月11日・12日・14日

令和2年度優秀映画鑑賞推進事業

新春 アピカ名画座 ～レコードで楽しむ名場面～

越川 誠司

今から13年前の2007年10月28日。西脇の街でただひとつ最後まで残っていた映画館「西脇大劇」がその49年という長い歴史の幕を閉じました。

「さよなら上映」と銘打たれた2日間の興行には、洋・邦のより抜きの名画作品7本が登場し、ラストの一作は映画黄金時代へのオマージュと呼べる『ニュー・シネマ・パラダイス』。

イタリアの小さな田舎町の映画館で固唾を飲んでスクリーンに目を凝らし映画とともに泣き笑いする観客たち…その昔、映画館というものが、人びとにとってどんなに大きな意味を持つ存在だったかを見事に表現した名作です。

魅力的で良質な映画作品を選びすぐって紹介し地元だけでなく遠方の映画ファンからも熱い支持を受けていた晩年の「大劇」に私も何度か足を運び、スクリーンに映し出される世界に入り込んで名画を堪能したのです。

父の訃報を聞き都会から故郷に戻った主人公が両親の馴れ初めを追想する、詩情豊かなチャン・イーモウ監督の『初恋のきた道（我的父親母親）』と、フィナーレを飾った『ニュー・シネマ・パラダイス』が今も鮮やかに記憶に残っています。

私は農業を営む傍ら、ときおり西脇のまちのフリーペーパー『へそまち文化新聞』を編

集し発行しています。その紙面で最盛期には街中に5館を数えたと聞く西脇の映画館の歴史を掘り起こしたいと一昨年、「織都と銀幕」と題した特集号をつくったのですが、その際あれこれと調べる中で、地場産業である播州織と西脇の映画館の隆盛との密接な繋がりを知ったのでした。このページをお借りして、簡単にその歴史を振りかえってみましょう。

西脇に最初の劇場である「蓬萊座」が誕生したのは大正8年(1919年)2月のことです。当時、第一次世界対戦の勃発により綿木綿の輸出額が増加、播州織は活気に満ち、その2年前には津万村が町制施行、西脇町となった時代でした。演劇場として創立された「蓬萊座」で初めて活動写真が登場したのは大正14年(1925年)11月25日。時代劇映画『影法師』『闘争の後』が上映されたと記録には記されています。

それから「蓬萊座」は後発の劇場である「寿座」と競い合うように西脇の人びとに娯楽を提供し続けます。そして戦後間もない昭和21年(1946年)8月、初の専用映画館として「西脇映画劇場」が建設業を営んでいた高尾常松の手によって設立されます。西脇には当時全国各地からやって来た織物工場で働く女性たちが大勢いて、彼女たちの休日の、数少ない楽しみのひとつが映画でした。常松



『二十四の瞳』

は時の西脇警察署長から“人助け”を頼まれて一大決心をしたのだそうです。彼はその後昭和33年(1958年)には「西映」の隣に「西脇大劇」を創業し「西脇銀映」をも経営することになります。

銀幕に魅せられた常松は阪神間でも次々と映画館を誕生させ、遂には京都・太秦で「京映」という撮影所を運営、片岡千恵蔵をはじめ名優たちとも交流するなど映画の世界に小さからぬ足跡を残しました。尼崎市にある「塚口サンサン劇場」は常松の流れを汲む映画館です。

播州織が好況を呈した「ガチャマン景気」を経て「大劇」が出来た昭和33年、西脇市の人口は4万5千人を越えピークを迎えまし



『喜びも悲しみも幾歳月』

た。それは播州織の女子従業員数が最も多かった年度でもありました。同じ年、全国の映画館入場者数も1億7000万人と空前の動員を記録しました。播州平野の北端にある小さな街で、戦後日本の映画全盛期と播州織の黄金期が見事に符合したのです。

西脇市立音楽ホール「アピカホール」では「アピカ名画座」と名付けられた映画史上に残る名作映画の上映会が定期的に開催され、専用映画館は無くなった今も西脇の映画文化の灯は明るく灯されています。今回は新年の1月11日・12日・14日。素晴らしい音響を誇る音楽ホールでスクリーンに映し出される名画の数々を、私もこれから毎回愉しみにしたいと思っています。

プロフィール



越川 誠司

昭和37年(1962年)多可郡加美町(現多可町)生まれ。西脇高校～関西学院大学卒業。広告デザインの仕事をを経て故郷で野菜づくりに従事。また西脇のフリーペーパー『へそまち文化新聞』と西脇&多可のローカルカルチャー誌『ヘソノオMAGAZINE』の編集・発行を手掛け、西脇まちなかのブックサロン「へそまち文庫」を主宰。



2021年2月15日(月) 19時開演 (18時30分開場)

第147回しばざくらコンサート

「N響中村翔太郎 ヴィオラと弦楽器の仲間たち」

ヴィオラ奏者 中村 翔太郎

ボナンタゴンをご覧のみなさま、こんにちは！NHK交響楽団ヴィオラ奏者の中村翔太郎です。来年2月15日、実に10年ぶりにアピカホールで演奏します。前は2011年12月24日、東京藝術大学の仲間とともに弦楽合奏でヴィヴァルディ「四季」などを演奏しました。この仲間とは今でも年に1回、東京で定期公演を行なっています。

大学を卒業し、私はNHK交響楽団に入団しました。年間100公演以上あり、プログラムのレパートリーも幅広いです。入団して6年経ちましたがまだまだ知らない曲がたくさんあります。一流の指揮者、ソリスト、そしてN響の仲間毎日刺激をもらいながら勉強しています。

最近のN響はというと、ようやく7月から活動を再開しました。3月6日にヨーロッパツアーから帰国して4ヶ月間演奏会がありませんでした。ヨーロッパツアーは指揮者パーヴォ・ヤルヴィさんとともにタリン・ロンドン・パリ・ウィーン・ケルン・ドルトムント・アムステルダム・ベルリン・ブリュッセルと回りました。ハードでしたがその土地土地の空気に触れ、伝統あるホールで演奏できたことはとても貴重な経験です。それと同じくらい楽しみなのは美味しい料理とビールを堪能することです！

帰国してからは本当に辛い日々でした。毎

日のように演奏会中止や延期のお知らせがきました。8年ぶりに企画していたリサイタルも延期を決めたものの未だ見通しが立っていません。モチベーションを保つのが難しく、ヴィオラを弾かない日も増えました。そんな中、クラシック音楽館という番組でN響のタリンでの演奏会が放送されました。いつも自分が出演している演奏会は欠かさず観ていましたが、この日は特別でした。鳥肌が立ってきました。クラシックが心に響いてくるのは久しぶりで、テレビでこんなに感動するなら生の演奏はどれだけ良いものか考えた瞬間でした。そして7月17日、ついにN響が演奏活動を開始。今まで一人孤独に練習していましたが周囲から聴こえてくる音に感動しました。ソーシャルディスタンスを守るため、譜面台も一人一台で(通常弦楽器は二人で1台)距離をあけなくてははいけません。アンサンブルするのが難しいのではないかと心配していましたが流石N響。普段からアンサンブルを意識して演奏しているので心配無用でした。そして本番、この時は無観客での収録でしたが、一音目から鳥肌が立ったのを覚えています。そしてこの緊張感、なんとも言えない嬉しさでした。8月2日はNHKホールにお客様が戻ってきました。人数制限をしているため大きなホールに500人という少なさでしたが、入場した時の拍手これまた嬉しかったです。

さて、来年2月15日は弦楽四重奏やピアノ五重奏をお届けします。素敵なメンバーも決まりました。ヴァイオリンはマロさんこと篠崎史紀さん、倉富亮太さん、チェロは桑田歩さん、ピアノは入江一雄さん。この演奏会が決まりメンバーにお伺いしたところ喜んで引き受けてくださいました。みんな演奏会に餓えているのかもしれない(笑)

曲目はメインにドホナーニ作曲ピアノ五重奏第1番ハ短調作品1を予定しています。ドホナーニはあまり馴染みのない作曲家かもしれませんが、彼が17歳の時に作曲し、それをブラームスが大絶賛しデビューしました。実演される機会が少ないこの曲ですが、聴きごたえ抜群です。そのほかにもドホナーニに関連した作曲家の曲をメンバーの楽しいトークを交えお届けします。

10年ぶりのアピカホール、今からとても楽しみです！



©Ayane Shindo

出演者プロフィール

中村 翔太郎 (Nakamura Shotaro)

兵庫県三田市出身。

4歳よりヴァイオリンを始め、相愛音楽教室、三田ユースオーケストラで学ぶ。2005年、東京藝術大学附属音楽高校入学を機にヴィオラに転向。これまでにヴァイオリンを佐藤紀子、菊池佳奈子、東儀幸、近藤緑、若林暢、ヴィオラを百武由紀、川崎和憲の各氏に師事。第15回コンセル・マロニエ21弦楽器部門第1位、他多数入賞。サント・ヨーロッパ音楽祭に出演や、ウィーンフィル・ベルリンフィルメンバーと共演するなど国内外で活躍している。大阪フィルハーモニー交響楽団や日本センチュリー交響楽団、ベトナム交響楽団に客演首席奏者として出演。毎年地元の三田で「真冬の熱いクラシック」を主宰するなど関西方面でも積極的に活動している。

学内において、同声会賞、アカンサス音楽賞、三菱地所賞受賞。

北鎌倉女子学園非常勤講師、東京ジュニアオーケストラソサエティ講師。

藝大同期による弦楽アンサンブル「TGS」代表。Alto de Campagne (ヴィオラ四重奏)メンバー。

東京藝術大学卒業。N響アカデミーを経て現在NHK交響楽団次席ヴィオラ奏者。



心でフルートを奏でて ～フルートの魅力～

フルート奏者 村上成美

音楽の大切さ

新型コロナウイルスの脅威は留まるところを知らず、世界は大きな試練を迎えています。音楽や演劇の世界でも公演のキャンセルが相次いでいましたが、客席数を減らすなど万全の予防策を取ることでようやく再開できるようになりました。私自身、9月17日に東京文化会館での演奏会を予定しており、準備の最中です。音楽家として再び演奏ができることは大きな喜びですが、一概に喜べない複雑な心境でもあります。

先日、親しい演奏家の知人が、「つい最近、4ヶ月ぶりに人前で演奏して、音楽の大切さを実感しました」とメールに書いてきました。確かにその通りで、演奏は一人でもできますが、音楽の美しさはお客様と一緒に作り上げるもので、その時しか味わえない「場」が生み出すものです。美術作品と違い音楽は形として残りませんが、演奏会は聴き手の心に残る大切な「記憶」なのではないでしょうか。

音楽は形を持たないが故に世界共通で、国境を越えて誰とでも分かち合うことができます。世界各地に演奏旅行に行くと、楽器を演奏するだけで言葉の壁を乗り越えて、気持ちがつながるという幸せな体験をしたことが何度もあります。

音楽は人と人をつなげる最高のコミュニケ



ーション手段の一つです。そして、私にとってフルートの音色は喜びや悲しみ、心の中の全ての感情を表現する言葉のようなものです。と同時に、それを表現する場を作ってくれる人生最高の相棒でもあります。

小鳥の囀りは最高の芸術

フルートの音色は、小鳥の囀りとも言われています。

これまで多くの作曲家が小鳥の鳴き声をイメージして作曲し、代表的な曲にはヴィヴァルディのフルート協奏曲「ごしきひわ」があります。ヨーロッパの絵画にも登場するごしきひわは日本人にあまりなじみはありませんが、顔が赤く、茶、黒、白、黄で彩られた愛らしい五色の鳥です。ヴィヴァルディはごしきひわの鳴き声を真似て曲を書きました。

また、フランスで20世紀最大の作曲家と呼ばれるオリヴィエ・メシアンは、幼少期から鳥たちの歌声に魅了されて、作曲家としてだけでなく、鳥類学者としても名を成しました。フランスの鳥なら約50種類を耳で聞いて識別できたそうです。メシアンは交響詩「魔法使いの弟子」を作曲したフランスのポール・デュカスの弟子で、デュカスがメシアンに「鳥の歌声を聴きたまえ!」と言い聞かせた話は有名です。メシアンがその教えを守り、実際に鳥の声を聴いて五線譜に書き起こしたのが「クロツグミ」というフルートの名曲です。

絵の世界でも同じことがあって、最新CDのジャケットに絵を使わせていただいた画家の上村松篁さんは、鳥を描くためにアトリエに鳥小屋を作り、約280種類、1200羽の鳥を飼育し、日々スケッチしたそうです。私自身、何十年もカナリア、ヒワなどの鳴き鳥の飼育



2019.4.18 東京紀尾井ホールにて
モーツァルトフルート四重奏

を趣味としていて、ごしきひわも飼ったことがあります。その時々で節が違う鳥たちの歌を聴いていると、インスピレーションが掻き立てられます。

画家は鳥を観察してスケッチし、作曲家は鳥の囀りを聴いて作譜し、フルート奏者は鳥の鳴き声をイメージして演奏するというわけですね。

ほかにも、ベートーヴェンの交響曲第6番「田園」の第2楽章（フルートでの西洋ウグイスのさえずり）があります。プロコフィエフの「ピーターとおおかみ」も可愛いフレーズで、サン・サーンスの「動物の謝肉祭」第10曲「大きな鳥かご」もフルートで鳥の囀りを再現しています。機会がありましたらぜひ聴いていただくと幸いです。

平和を祈って音楽を

最後になりますが、スペインの著名なチェロ奏者パブロ・カザルスは、いつも平和を祈ってカタルーニャ民謡「鳥の歌」を弾いたそうです。1971年にニューヨークの国連本部で



2020.2.21 ベルリンポツダム美術館にて
モネ展オープニング

演奏した際、「私の故郷カタルーニャの鳥はピース、ピースと鳴くのです」と語ったという有名なエピソードがあります。あの曲も鳥の鳴き声から始まります。

私が尊敬する画家にベン・シャーンがいますが、ベン・シャーンは被爆した第五福竜丸の絵を描くなど社会性の強い画家で、パブロ・カザルスの絵も描いています。私はその絵が大好きで、ベン・シャーン展のオープニングには「鳥の歌」を演奏します。

音楽には人間の心を癒すパワーがあります。音楽を聴いている間だけは現状を忘れて音の世界に浸ってほしいと思います。演奏会というものは、お客様がいて初めて生まれる場ですから、そういう機会が普通になる日々が戻って来るよう心から祈っております。

そして、無事に演奏会が開かれた際には、私もフルートの音色に平和への祈りを込めたいと思います。新型コロナウイルスの脅威が少しでも収束するよう願って一。

プロフィール 村上 成美 (むらかみ なるみ)

西脇市和田町出身。東京藝術大学を経て、同大学院を修了。フルートを吉田雅夫、金昌国、ハンス・ペーター・シュミッツの各氏に師事。在学中に東京文化会館推薦音楽会に出演し、第3回日本管打楽器コンクールに入選。NHK-FM「フレッシュコンサート」に度々出演。その後、東京藝術大学管打楽器科の助手を務め研鑽を積む。2002年にVDE-Gallo社（スイス）よりフルートとパイプオルガンによるCDを発売後、画家アンドリュー・ワイエスの記念アルバム「サラバンド」、及びクロード・モネの作品をイメージしたアルバム「ルエルの眺め」をリリース。近年は音楽と美術との融合による新たな音楽活動を実践している他、ソロ又は室内楽においてはアンサンブルofトウキョウの定期公演に出演する等、国内外で演奏活動を積極的に行っている。最新アルバムは叙情的な楽曲を収録した「日本の郷愁」。





催しのお知らせ

11月3日(火・祝) 県民芸術劇場 「アピカチャレンジ企画」 [入場料] 1,000円

アンサンブルでバロックからロマン派までお楽しみいただける1ステージ40分の小さなコンサート。コロナ禍の中でも楽しいコンサートをお楽しみください。

第1ステージ 13:00~13:40

♪リコーダーとチェンバロによるバロック音楽の世界

・リコーダーと通奏低音のためのソナタ ト短調<ミシェル・ド・ラ・バー> 他

第2ステージ 14:00~14:40

♪コントラバス弾きの独り言

・ガボット<ローレンツィニー> 荒城の月<滝廉太郎> 他

第3ステージ 15:00~15:40

♪1to5 Stringed instruments

・弦楽のためのセレナーデ 第4楽章<チャイコフスキー> 他

11月7日(土) 14時開演(13時30分開場) [入場料] 一般 2,000円
高校生以下 1,000円

第146回 しばざくらコンサート 地元演奏家シリーズ

♪村上成美&東海林悦子 フルートとハープによる~日本の郷愁~

西脇市出身の村上成美さんとパリで活躍中の東海林悦子さんによるどこか懐かしい日本の音楽をお楽しみください。

11月15日(日) 14時開演(13時30分開場) [入場料] 500円(当日精算)

第14回 蓄音器で味わう名曲シリーズ

♪ベートーヴェン 生誕250年記念特集

今回はベートーヴェン特集!じっくりとクラシックをお楽しみください。

11月23日(月・祝) 14時開演(13時30分開場) [入場料] 一般 2,000円
高校生以下 500円

♪野島レナ サクソフォンソロコンサート「風薫る音楽会」

“サクソ・パーティー!”メンバー 野島レナのソロコンサート!
サクソフォンの優雅な音色をお楽しみください。

BOSCH ボッシュ
Invented for life

ビルトイン食器洗い機

予洗いなして
しっかり洗える
洗浄力

お皿から鍋まで
まとめて洗える
収納力

深夜に使用しても
気にならない
静音性

株式会社 藤田幸三商店 西脇市高松町633-18 ☎0120-165-995
TEL.0795-23-5995 FAX.0795-23-6564

会議・セミナー・展示会・パーティ・同窓会 承ります

西脇ロイヤルホテル

Daiwa House Group®

〒677-0015 西脇市西脇 991
TEL.0795-23-2000 FAX.0795-23-8604

詳しくはオフィシャルホームページで
▶▶▶ <http://www.nishiwaki-royalhotel.jp> 西脇ロイヤルホテル 検索

12月6日(日) 14時開演(13時30分開場) [入場料] 1,500円

Stella Apika Concert

♪中安修也&大西隆弘ピアノデュオリサイタル

夢の師弟共演。ソロと連弾の両方楽しめるコンサートです。

12月12日(土) 13時開演予定 入場無料

♪第23回「アピカ・アンサンブルコンサート」

市内の中・高・一般のアンサンブルグループが出演します♪

2021年1月11日(月・祝)・12日(火)・14日(木) [入場料] 各回500円

令和2年度優秀映画鑑賞推進事業

♪新春 アピカ名画座 ~レコードで楽しむ名場面~

1/11	①悲しき口笛	開演10:00~	②二十四の瞳	開演13:00~
1/12	③カルメン故郷に帰る	開演10:00~	④喜びも悲しみも幾歳月	開演13:00~
1/14	⑤野菊の如き君なりき	開演10:00~	⑥二十四の瞳	開演13:00~

1月15日(金) 14時開演(13時30分開場) [入場料] 500円(当日精算)

第12回 蓄音器で味わう名曲シリーズ

♪~美空ひばり特集~

美空ひばりの歌声を蓄音器でお楽しみください。当時の空気感も感じていただけます。

1月16日(土) 14時開演 ※会場：西脇市民会館中ホール 入場無料

西脇市民会館閉館事業

♪「Monthly live」アピカ和楽器教室単独ライブ!

第24回「リトルピアニストの大っきなコンサート」

2020年8月22日土曜日、24回目となる「リトルピアニストの大っきなコンサート」を開催いたしました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご入場の際には検温、お名前の記入、入場制限等で大変ご不便をおかけいたしました。例年とは違う会場設営と進行で戸惑われたご家族も多かったことと思います。しかし、例年通り練習の成果をアピカホールの舞台上で披露してくれた皆さんのリトルピアニストたちの笑顔は、忘れることのできない夏の思い出になりました。

総合建設業 一級建築士事務所
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場
あんしん住宅瑕疵保険届出事業者



WAIKI CONSTRUCTION CO.,LTD.

和気建設 株式会社

☎677-0018 西脇市 富田町 36
電話 0795-22-5651(代)

♪アピカホールからのお願い♪

新型コロナウイルス感染拡大防止のため収容人数の半数、90席のみのご案内となっております。

ご予約の際に住所氏名をお聞きする、もしくはご記入いただきますのでご了承ください。

音楽の 話・輪・和・Wa

先生、
ありがとう
トランペット奏者
藤田小津枝

ボナンタゴン
をご覧の皆様、はじめまして。私は、フリーランスでトランペット奏者をやっています。31年前、南中（西脇南中学校）で吹奏楽部に入り、当時希望していた楽器ではありませんでしたが、トランペットに出会いました。中学時代に、音楽の教師として南中に来られた藤原治先生には、亡くなられる直前まで、音楽を通して多くの事を教わりました。残念な事に、先生の指揮でトランペットを吹かせてもらう最後となってしまった演奏会は、昨年2019年

10月、アピカホールで行われた西脇東中学校の演奏会でした。それから1年も経たず2020年4月に亡くなられた大好きな恩師に、哀悼の意を込めて私の気持ちをはんの少しだけ書かせて頂こうと思います。
治先生が、ご自身も母校である南中に来られたのが1991年、34歳くらいだったと思います。もっと先生の指揮で吹奏楽を続けたかったので、高校生の時も市吹（西脇市吹奏楽団）に入り、ここでも指揮をされていた先生のもとで音楽にどっぷり浸かった青春時代を過ごしました。私にとって市吹は、もう一つの学校でした。先生をはじめ、音楽を愛する大人に囲まれ、貴重な時間だったと思います。

治先生と同じ大阪音楽大学へ進んで、フリーランスでやっていく私を、心配しながらも温かい目ですっと応援して下さいました先生に、もっと恩返しをする時間が欲しかったと寂しい気持ちになります。

緊急事態宣言が解除になり、6月、やっとアピカホールにも行けるようになりました。ロビーや、ホール裏、楽屋など、治先生が見ているような気がしてなりません。先生、ありがとうございます。学んだ事を胸に、前に進んで行こうと思います。
皆さん、最後まで読んで下さって、ありがとうございます。

（大阪市在住）

編集後記

新型コロナウイルスは、世界中の人びとに難題を課しています。正解が見つからないだけに厄介です。こんなに影響が甚大になるとは予想できたでしょうか。

アピカホールでも計画していた催しが中止になったり縮小したりしています。今号の寄稿者で出演者のお2人がコロナ対応の経験や、今秋・来春にアピカホールで演奏できる喜びをお書きになっています。

そんななか『ボナンタゴン』は、これまで通り発行。広い場所でマスクをして編集の打ち合わせをし、ネットで校正のやり取りをしています。

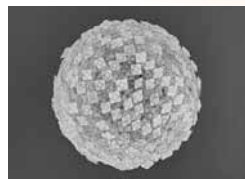
コロナ禍でのアピカホールの活動記録として役立つことを願うばかりです。音楽の力を信じて、この苦難を乗り越えましょう。（Tam）

西脇市
岡之山美術館
TEL.0795-23-6223

●本館ギャラリー

第19回企画展 「宮崎興二の4次元ミュージアム」展 ～12月6日(日)

宮崎興二の多彩な4次元ドローイングや、教え子の研究者が描いた4次元の具象画と抽象画などを展示。4次元の世界をとおして、新しい発見や、新鮮な驚きを感じる事が出来る見どころいっぱいの展覧会。



宮崎興二《アジサイ》1985年

第20回企画展 「天国:寺門孝之」展 12月19日(土) ～2021年3月21日(日)

画家、イラストレーターとして多彩な活動を展開する寺門孝之の天使画の代表作や新作絵画を展示し、その魅力に迫ります。

開館時間 午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで)
入館料 大人300円(250円)、シルバー250円(200円)、
高・大学生200円(150円)、小・中学生100円(70円)
※()内20名以上の団体割引料金
※障がい者割引有、ココロカード利用可
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・祝日の翌日
※展示替え(12月7日(月)～18日(金))
※年末年始(12月28日(月)～1月4日(月))

●第2回 西脇市美術協会展

西脇市美術協会会員の作品を部門ごとに7回に分けて紹介

- VOL.1 ●「洋画・デザインⅠ」
～10月18日(日)
- VOL.2 ●「洋画・デザインⅡ」
10月20日(火)～11月8日(日)
- VOL.3 ●「洋画・デザインⅢ」
11月10日(火)～29日(日)
- VOL.4 ●「彫塑・工芸」
12月22日(火)
～2021年1月17日(日)
- VOL.5 ●「書」
1月19日(火)～2月7日(日)
- VOL.6 ●「日本画」
2月9日(火)～28日(日)
- VOL.7 ●「写真」
3月2日(火)～21日(日)

※アトリエ入館無料

※各会期の最終日は午後3時まで。

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>
ホームページにも掲載していますので、是非ご覧ください。
ブログ「美術館日記」もご訪問ください。

西脇市民会館

TEL.0795-22-5715

休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)



市民会館閉館事業

「昭和の歌コンサート」

とき 10月3日(土)
14:00～16:00(開場13:30)
ところ 西脇市民会館 大ホール
入場料:全席指定 2,000円

市民会館閉館事業

第10回「NSKのど自慢」

ゲスト:実力派ものまねタレント「みはる」

とき 11月1日(日) 13:00～15:30(開場12:30)
ところ 西脇市民会館 大ホール 入場料:全席指定 500円

市民会館閉館事業

Monthly live

ところ 西脇市民会館 中ホール

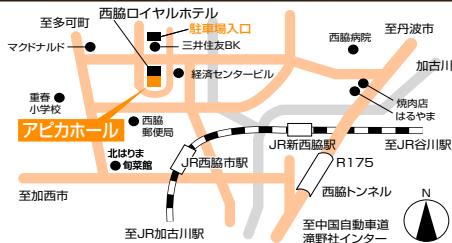
・11月23日(月・祝) クニ三上トリオ「午後ジャズ」 14:00～
・令和3年1月16日(土) アピカ和楽器教室 単独ライブ 14:00～

アピカホール 催しガイド 10月～1月

休館日：毎週水曜日(祝日の場合翌日)

月/日(曜日)	催 物 内 容	時 間	入 場 料 等	主 催・問 合 せ	特 集 記 事
10/3(土)	市民会館閉館事業 「昭和の歌コンサート」	会場：西脇市民会館 大ホール 14:00～16:00	全席指定 2,000円	西脇市民会館 ☎0795-22-5715	
10/25(日)	西脇東中学校吹奏楽部コンサート 第16回ふれあいコンサート (コロナ対策のため密を避けての対応となります)	①11:00～12:00 ②14:00～15:00	無料	西脇東中学校 ☎0795-22-3905	
11/1(日)	市民会館閉館事業 第10回「NSKのど自慢」	会場：西脇市民会館 大ホール 13:00～15:30	全席指定 500円	市民企画委員会「0」 西脇市民会館 ☎0795-22-5715	
11/3(火・祝)	県民芸術劇場 「アピカチャレンジ企画」	①13:00～ ②14:00～ ③15:00～	1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	P8
11/7(土)	第146回 しばくくらコンサート 地元演奏家シリーズ 「村上成美&東海林悦子フルートとハーブによる ～日本の郷愁～」	14:00開演 (13:30開場)	一 般 2,000円 高校生以下 1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	P8
11/14(土)	第15回パレットコンサート (県立西脇工業高等学校)	14:00開演 (13:30開場)	無料	西脇工業高等学校 吹奏楽部 ☎0795-22-5506	
11/15(日)	第14回 蓄音器で味わう名曲シリーズ ～ベートーヴェン 生誕250周年記念特集～	14:00開演 (13:30開場)	500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P8
11/22(日)	西脇学	13:30～	無料	藤本 邦之 ☎0795-22-4611	
11/23(月・祝)	野島レナ サクソフォンソロコンサート 「風薫る音楽会」	14:00開演 (13:30開場)	一 般 2,000円 高校生以下 500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P8
12/6(日)	Stella Apika Concert 中安修也&大西隆弘ピアノデュオリサイタル	14:00開演 (13:30開場)	1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P9
12/12(土)	第23回「アピカ・アンサンブルコンサート」	13:00開演 予定	無料	アピカホール ☎0795-23-9000	P9
12/27(日)	第26回 クリスマスコンサート	12:00～	関係者	服部 文子 ☎0795-42-1530	
2021 1/11(月) ～14(木)	新春 アピカ名画座 ～レコードで愉しむ名場面～ 1/11①悲しき口笛 ②二十四の瞳 1/12③カルメン故郷に帰る ④喜びも悲しみも幾歳月 1/14⑤野菊の如き君なりき ⑥二十四の瞳	①③⑤10:00～ ②④⑥13:00～	各回500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P2～3 P9
1/15(金)	第12回 蓄音器で味わう名曲シリーズ ～美空ひばり特集～ ※2020年5月24日の振替公演	14:00開演 (13:30開場)	500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P9
1/31(日)	県民芸術劇場 「ミュージカルスター 金 ずんらアピカホールに帰ってくる!」	14:00開演 (13:30開場)	一 般 3,000円 高校生以下 1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	

★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についての質問は、各主催者までお問い合わせください。



交通アクセス

<バス>中国ハイウェイバス西脇営業所行き
「西脇」下車すぐ。

三ノ宮～西脇線(神姫)「西脇」下車すぐ。

<鉄道>JR加古川線「西脇駅」より徒歩約20分。

<車>中国自動車道 滝野社ICより国道175号線
を北へ約15分。

■編集：ポナタゴン編集委員会
■発行：西脇市立音楽ホール「アピカホール」
ポナタゴン：こんにちは
(エスベリタ語)

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991
TEL(0795)23-9000 FAX(0795)23-9031
http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/
E-mail: apikahall@ever.ocn.ne.jp

このガイドは2020年8月1日現在の資料を元に編集しており、内容は変更される場合があります。無断での転載を禁じます。

アピカホール ポナタゴン 検索 ホームページでもご覧いただけます。